

PRIDE



はるりん さばぼ

市民の皆さまより 81 作品のご応募をいただき、
この度、春日井 JC 公式キャラクターが誕生しました！
たくさんのご応募・ご投票ありがとうございました。
これから仲良くしてね♡

春日井 JC × 女性 ハルジェンヌ ～女性が活躍する社会へ躍進～



JC という、男性メインのイメージがあるかもしれませんが、近年、女性メンバーが増えてきております。そこで女性も活躍しやすい JC にしたい！という思いから、2 年前に女性の会「ハルジェンヌ会」を設立しました。春日井の「ハル」と、パリジェンヌ（世界中の女性が憧れるような、パリの街を美しく彩って生きている女性のことを意味する言葉）の「ジェンヌ」を掛け合わせて命名しました。
パリジェンヌのようにおしゃれでカッコよく、強く美しい確立した女性でありたいという願いも込めて、年に数回、学びのある交流会も開催しております。(写真: になりたい自分を明確にするドリームボード制作ランチ交流会)
女性の柔軟性と発想力、想像力は、組織にとってとても大切だと思います。JC に興味はあるけど、男性が多くて不安に思われている方は、ぜひ一度ハルジェンヌ会に参加してみてくださいね！

新入会員募集中!! (公社) 春日井青年会議所は志高き品格ある青年男女を募集しています
詳細は下記記載に平日 10:00 ~ 15:00 にお問合せ下さい

JCI Kasugai 〒486-0844 春日井市鳥居松町 5-45 春日井商工会議所内 <https://www.kasugai-jc.com/>
TEL:0568-81-8480 FAX:0568-84-2299 **春日井 JC** 検索

PRIDE ～誇り～ 2023年度公益社団法人春日井青年会議所 広報誌



発行元：公益社団法人春日井青年会議所
〒486-0844 春日井市鳥居松町 5-45 春日井商工会議所内 TEL0568-81-8480



2023年度公益社団法人春日井青年会議所 広報誌



PRIDE

～誇り～

2023 JCI Kasugai
Public Relations Magazine

「地域の課題を解決するために
持続可能なまちづくりをめざします。」

Purpose
春日井JCの存在意義
～パーパス～



kasugai jc
since 1969

読者プレゼント

はるりんを探して
応募してね
詳しくは差込チラシへ



春日井 JC の新ビジョン
事業開催の裏側
春日井 JC の存在意義とは！
ハルジェンヌ会





まえがき

(公社)春日井青年会議所(以下、春日井JC)は2023年で50周年の節目を迎えます。春日井青年会議所の運動は、時代や環境が変化を遂げる中で、我々が住まうこの『春日井』という地域に焦点を当て、「明るい豊かな社会の実現」のために日々発信し続ける必要があります。

その中で、春日井JCメンバーが実現したい未来に一丸となり向かうためには、時代に沿ったまちの課題やニーズを捉えた運動を行わなければなりません。そのためには、それらをしっかりと踏まえた、5年後・10年後の未来を新たに捉え、実現するための指針を示す必要があります。

私たちは、春日井JCがどのような行動を起こし、どのように発信していくべきかをより明確にし、個々の未来をイメージしながらまちの未来を考える必要があります。

春日井JCメンバーが同じ想いをもち行動することで、運動の効果が高まると同時に団体の存在価値を上げ、春日井のまちに必要とされる魅力的な組織への成長につながっていきます。

そこで、我々ビジョン協働策定委員会では、今後の10年先を見据えた第5次長期ビジョンと5年先を見据えた第8次中期ビジョンについて、春日井JCのメンバーや市民の皆様と春日井で『実現させたい未来』を共に考え策定し、『どのように動くべきか』を考える基礎となる、行動指針を策定致しました。

第4次長期ビジョン
シーキューブ
春日井C³プロジェクト
～世代間共和都市の創造と発信～

ひとづくり まちづくり 組織づくり

第7次中期ビジョン
「Make a Harmony」

第5次長期ビジョン
かすがいりよく
「春日井力」
えが つく でんたつ
描く×創る×伝達する

第8次中期ビジョン
「春日井」Cがひと・まちをつなぐ架け橋となる」

第5次長期ビジョン
「春日井力」描く×創る×伝達する

【ひとづくり】“描く” 誰か一人が描けるひとづくりの推進
【まちづくり】“創る” 春日井ならではのまちづくりの推進
【組織づくり】“伝達する” 誰もが春日井JCを身近に感じる組織づくりの推進

第8次中期ビジョン
春日井JCがひと・まちをつなぐ架け橋となる

【ひとづくり】 新たな発想が展開できるひとづくりの推進
【まちづくり】 もう一度行きたいまちづくりの推進
【組織づくり】 誇りと笑顔が溢れる組織づくりの推進

行動指針
ひとの架け橋 我々は他者との交流を通して様々な考えを持つことができるひとづくりを目指します。
まちの架け橋 我々は誰もが春日井の魅力を見つけ、発信し活躍の場を創るまちづくりを目指します。
組織の架け橋 我々はJCでの活動に真摯に向き合い、率先して楽しむことができる組織づくりを目指します。



① 市民向けアンケート

市民の皆さまに向けて「魅力あふれる春日井のまちの未来」についての意識調査を行いました。

- 春日井がより魅力的になるには？
- 春日井のまちに「増やしたいもの」「残したいもの」「減らしたいもの」

市内各所の公共施設のほか、SNSでも調査を行うことで、多くの市民の皆さまにご回答をいただきました。

② 春日井市長面談

春日井市長 石黒直樹様と意見交換を行いました。

- 石黒市長が考える春日井の未来の姿とは？
- 現状の春日井の良さ・課題とは？

春日井JCに求める活動や組織としての在り方についても考える機会となりました。

③ 他団体訪問調査

春日井市で活動する他団体の皆さまにもご意見を賜りました。

- 春日井商工会議所●春日井ロータリークラブ●春日井ライオンズクラブ●春日井中央ライオンズクラブ●春日井けやきライオンズクラブ●春日井さくらライオンズクラブ●春日井市社会福祉協議会●春日井商工会議所青年部など

お互いの活動内容の違いやアプローチの仕方、春日井の未来の姿について意見交換をしました。

④ 歴代理事長訪問

春日井JCの活動と歴史は、OBの皆さまが受け継ぎ、未来へ紡いできたものです。

その年、その時々時代の背景や、OBの皆さまの熱い想いを知ることで、この先の春日井JCがどのように活動していくべきなのかを考える必要がありました。

今回、第50～54代の歴代理事長に当時の理事長所信に込めた想いや、活動の思い出を語っていただきながら、春日井JCの未来についてご意見をいただきました。

⑤ ワークショップ 未来MAP・未来年表作成

①～④をもとに、春日井の未来の姿を視覚化するためのワークショップを春日井JCのメンバーに向けて実施しました。

春日井がどのような未来を迎えることができるか良いか考え、『未来MAP』と『未来年表』を作成し、発表しました。

⑥ ビジョンの策定

①～⑥をもとに、ビジョン協働策定委員会で意見をまとめ、55周年未来ビジョンを考えました。

春日井JCがどのように活動を行い、どのような未来を迎えることで春日井がより魅力的になるかを考え、

- 第5次長期ビジョン
- 第8次中期ビジョン

としてまとめ、実現させるための『行動指針』を策定しました。



なぜやってるの？ 『背景』と『目的』

1 月度例会 1 月 24 日（総務事務局）

賀詞交歓会

Q. この事業を、なぜおこなおうと思ったのですか？
A. 本年度（公社）春日井青年会議所は 55 周年の節目を迎えます。

背景

先輩諸兄が 54 年間続けてきた、明るい豊かな社会の実現への挑戦を引き継ぐために、LOM メンバーや関係各種の団体に向けて、2023 年度の新体制を発表し、新たな理事長の所信を聞いてもらうことで、組織の方向性を示し、LOM メンバーが一致団結して行動してもらいたいと考えました。

Q. この事業を行い、達成したい目的は何ですか？
A. LOM メンバーや各種の団体の方に、新体制の方向性をご理解・ご協力いただくことが目的です。

目的

LOM メンバーとは、春日井 JC に所属するメンバーのことです。



POINT / OB や来賓・LOM メンバーの前で理事長が所信表明を行いました！



（公社）春日井青年会議所では各活動に「背景」や「目的」を持って取り組んでいます



4 月度例会 4 月 27 日（戦略的広報推進委員会）

「Amazon で実践したセルフブランディング」「共感」を得るコミュニケーション戦略

Q. この事業を、なぜおこなおうと思ったのですか？
A. コロナ禍の 3 年間は、相手と対面で会話をすることを控えてきた 3 年間で、オンラインや SNS が発展した一方、人間関係の希薄化が進みました。

背景

多様化する価値観の中で、上司や部下、会社と消費者との信頼関係や、家族や友人、恋人との良好な関係を築くためには、相手の価値観を認め、お互いを尊重するコミュニケーションを取ることが必要だと思います。また、自分自身の存在意義を理解し、相手に伝えることで相手から共感を得ることが必要だと考えました。

Q. この事業を行い、達成したい目的は何ですか？
A. ご自身の社業やプライベートで、相手との良好な信頼関係を築くためのコミュニケーションが必要だと認識していただくことが目的です。

目的



POINT / 元 Amazon の広報部長・小西みさを氏をお呼びして、一般市民 100 名を含む 200 名でのセミナーを開催しました！

からみる春日井 JC の事業・例会

5 月度事業 5 月 28 日（SDGs 推進委員会）

『THE FIRST BASKE 3×3 ~きみのシュートが導く明るい未来のゴール~』

Q. この事業を、なぜおこなおうと思ったのですか？
A. 春日井市における SDGs の達成度は、現段階では達成できていない項目が複数あると思います。その主な要因には、地域社会における課題が理解できず、自分のこととして捉えられていないこと、取り組み方が不明なことが挙げられると思います。

背景

2030 年までの達成を実現し、持続可能な地域をつくるためには、未来を担う子どもたちが、スポーツを通じて将来に危機意識を持ち、今、何をすべきか理解した上で行動し、地域の人たちと共に大きな変化を生み出すキッカケをつくることか必要だと考えました。

Q. この事業を行い、達成したい目的は何ですか？
A. 子どもたちに社会の課題解決のために、地域全体で目標を持って取り組む重要性や、行動へのキッカケをつくるのが目的です。

目的



POINT / 小学 4~6 年生の 3on3 バスケ大会を開催しました！
ペットボトルキャップアートも制作し、SDGs にも取り組みました！
* わいわいカーニバルが雨で順延したため、グルッポふじうにて開催 *



5 月度例会 5 月 20 日（ダイバーシティ推進委員会）
第 33 回わんぱく相撲春日井場所

Q. この事業を、なぜおこなおうと思ったのですか？
A. 私たちの住む地域でもグローバル化が進んでおり、多種多様な国や民族の文化を持った人が暮らしています。しかし、外国文化を受け入れる意識はまだ進んでいないように感じます。

背景

誰もが活躍できる社会を実現するためには、未来の子どもたちが身近な国や文化の違い、さらには互いの違いを知り、受け入れることが大切だと考えました。

Q. この事業を行い、達成したい目的は何ですか？
A. 次次代を担う子どもたちに、創造性豊かな心を育ててもらうことが目的です。

目的

POINT / 小学生 130 人が本土俵の上で熱戦を繰り広げました！
同時に 4 か国の国技やスポーツの体験を通してダイバーシティを学びました！



“これまでの活動の振り返り、
これから何をすべきかを考える”

春日井市制 80 周年・春日井 JC55 周年を記念して



「誇りと自信」

理事長：本日はお時間を頂戴しましてありがとうございます。今年は市制80周年となり、記念事業を数多く開催されている中で、4月に行った私たちの事業も記念事業の一つとして加えさせていただきました。

私たち春日井JCも今年が55周年ということで、「誇りと自信を持って行動しよう、55年の歴史が紡ぐ春日井の未来へ」というスローガンで活動しております。私が「誇りと自信」をテーマにしたのは、自分たちがやっていることに対して自信を持ってできること、成功体験をどんどん積んでもらうことが非常に大事だと思っているからです。春日井市の今年のテーマは「先人の歩みと、未来をつなぐ“かすがい”」だと思いますが、このテーマに対して、どんな想いが込められているのかお聞かせください。

市長：80年前の昭和18年6月1日、当時は戦争中ということもあり、春日井市は軍需都市として誕生しました。それから昭和33年に坂下町と高蔵寺町が春日井市に合併をして、高蔵寺ニュータウンが昭和40年代にでき、工業都市、住宅都市へと編成してきました。歴史に想いを馳せることは、「先人に感謝をする」こと、それから「今を喜ぶ」ことです。今日も皆さんに会えて話ができる、こういうことも喜びだと思っています。そして未来をつなぐということは、「次世代を生きる子供たちに未来をつなぐ」ということです。そういう想いで考えました。

理事長：人口も30万人を超えて、他を見渡しても人口の多い都市になってきたと思うのですが、先ほど私が話した「誇りと自信」に絡めて、市長が考える春日井市の誇りはどこにあるとお考えですか。

市長：私は暮らしやすさだと思いますが、皆さんはどうですか？よく言われるのが交通が便利ということや、まちと緑がちょうど良いということですね。例えば、名古屋から春日井市に入ると街並みが多いですが、東の方へ行くと、緑が多く公園も多い。また、子どもから高齢者まで住みやすいということですね。

比較的安全・安心で、気候も程々に良いです。子どもから高齢者まで幅広く住みやすいまち、便利なまち、人がよいまちが誇りだと思いますね。

理事長：それは私も感じますね。今年度、春日井JCでは、OBや様々な団体にヒアリングをして、5年先、10年先にJCがどうあるべきか、どうなるべきかという新しい中期ビジョン、長期ビジョンを策定しているところなのですが、春日井市の5年先、10年先がどうなっていればいいのか、市長のお考えはありますか。



市長：長期的な課題としては「超少子化社会」「超高齢化社会」「人口減少」、短期的な課題としては「安全なまちづくり」「交通の利便性」「高齢者の福祉の向上」「経済の活性化」「子育て支援」だと思っています。人生100年時代、春日井市は80周年を迎えていますが、この先に子どもたちがつないでいけるようなまちづくりしていくことが目標です。

理事長：まずはここに力を入れたいというのはどちらになりますか。

市長：市の仕事は皆さんご存じの通り、「ゆりかごから墓場まで」なんですね。その中で春日井市は「子育て」「教育」「福祉」「安全安心」に力を入れていきたいと考えています。

理事長：子どもを育てるところでは、私も子どもが生まれましたので、手当や支援がすごく充実していると感じます。

リーダーとは

理事長：JCというのは奉仕を通じて自己成長する団体ではあるのですが、同時にリーダーの育成団体でもあるんですね。毎年役割が変わる単年度制の中で、その立場に合った職務を学びながらリーダーを育成していくのですが、市長の考える“リーダー”とはどういうものとお考えですか。

市長：皆さんそれぞれに答えがあると思うのですが、私が考えるリーダーというのは、人の役に立つ人。人の上に立つのではなく、人の役に立つのがリーダーだといつも意識して仕事をしています。

理事長：まさにその通りだなと思います。私は人を成長させられる人かなと考えています。一緒に成長するのはもちろんですが、JCで言えばメンバーが、会社で言えば社員がどうやって成長するのかを考えられるのがリーダーかなと思います。

市長となった1年間を振り返って

理事長：昨年の市長選から一年が経過して、この一年、どんなことをモットーとして行動されましたか。

市長：市長選で第一に掲げたのは「市民が幸せを実感できるまちの実現」でした。そのために「使命」「責任」「スピード」の3つのキーワードで仕事をしてきました。

理事長：行政経験35年というところで、いろんなことを熟知されていて、責任感を持ってやっていただけたということが市長の本当の魅力かなと思います。市長1年目として、大変だったことはありますか。

市長：1日24時間は皆さん一緒ですよ。しかし、仕事をする時間、頭を切り替える時間、体をリセットする時間、寝る時間と考えると、24時間では足りないと思っています。あとは、毎日判断と決断の連続でした。大体8時過ぎに毎日出勤をして、まずはミーティングでスケジュールを確認しますが、スケジュール通りいかないことが多いんですよ。それが大変です。

理事長：その中でも、市長になって良かったと思うことはなんですか。

市長：多くの人にお会いして、多くの人意見を聞くことができる。意見や要望だけではなく、OKと言われる人、NGだと言う人もいますが、そういった人の意見を聞くのも市長になったからこそだと思うんですよ。それが一番良かったことですね。

理事長：では最後に、今後の目標をお聞かせいただけますか。

市長：先ほど挙げたさまざまな課題がありますが、まずは皆さんの声を聞いて、それを施策として具現化する。その先に市民の幸せや、持続可能なまちづくり、人が安心して暮らせるといったまちがあると思っているので、皆さんの声を聞きながら、皆さんと一緒にまちづくりを進めていきたいと思っています。また、課題解決の一つの手段として、デジタル推進は必要だと思っていますので、積極的に進めていきたいと思っています。

理事長：本日はありがとうございました。

市民への皆さまへのメッセージ

先人の皆さまがあつての春日井市だと思っています。市制80周年を迎えて、改めて先人に感謝すること、そして今生きていることを喜ぶこと、命の大切さを感じています。このまちを未来につなげていくために、一緒にまちを作り上げていきたいと思っています。よろしくお願いします。



Profile

春日井市長 石黒 直樹 (いしぐろ なおき) 生年月日：1963年12月29日生まれ

特技：柔道(四段) 趣味：オカリナ演奏、読書 座右の銘：信義誠実

【プライベートな質問】

Q. オカリナが趣味ということでしたが、最近演奏されていますか？

A. 最近プライベートの時間がないので練習ができていませんけど、手元には持っています。

Q. 最近違う趣味とかハマっていることはありますか？

A. もともと柔道マンなので、社会人になってからも試合に出たり、教えたりしていましたが、今は柔道着に袖を通すこともないですね。

Q. Facebookで公務の内容を投稿されていますが、ご自身で投稿されているのですか？

A. 自身で投稿しております。365日の投稿は難しいので100日までは毎日投稿をおこない、100日以降はポイントごとに投稿しています。

まだまだインタビューは続きます！全容はこちらから！



紙面では掲載しきれない対談内容の動画や対談風景の写真などを掲載しています！！



<https://www.kasugai-jc.com/magazine/kouhoushi2023/>



スペシャル対談！

対談テーマ「**誇りと自信**」

転輪太鼓 打激師

國分 入道光雲氏 × 春日井 JC



“これまでの活動の振り返り、
これから何をすべきかを考える”

國分さんのマイパーパス、存在意義は何ですか？

存在意義っていう質問の答えを、僕もずっと探していたんですよ。

結論から言うと存在意義というのは、**自分が決めることでは無い**というのが答えとして有るんです。

自分を中心として様々な人間関係ができて、その方々が「國分入道光雲というのは、こういう風だったから良いよ」と言ってもらえる生き方を貫き通し、**最終的に死んだ後に周りの人たちが「国分っていうのは、こういうやつだったよ」と語り継がれるのが存在意義として一つの方向性や答えとして有ります。**

私なりに考えていくと人として生まれる確率って実は凄く低いんですよ。何億分の一の確率でお父さんとお母さんが自分たちを作ってくれ産んでくれるためにスタートして、その回数 × (かける) この何億分の一で、それがちゃんと受精をして人としてこの世にまず「オギャー」と生まれてくるのは、どれだけの確率の低さなのか、生まれてから死なずに生きて、ある程度健全健康に生きるこの確率っていうと、もっともっと低い確率になるわけです。

生まれて青年を迎えるっていうことだけでも人として生まれる確率、成長して行く確率は「**ちっちゃな、ちっちゃな、確率の中で生き残ってきた**」と考えていて、それが「**できる人**」なんだよね。

「できる人」とは、生きて行くために何かその人じゃないと、できない使命や事柄を必ず持つてるんだという感覚が私の中にはあって、その使命とは何なのかを、自分の中で探して行きながら使命を見つけ出すための様々な体験や、人間関係や苦労というのを重ねて行って、最終的に私の使命っていうのはこれだったんだなあってというのが、さっきの話につながるんです。

周りが「この人の存在っていうのはこういうことだったんだよね」って言って頂けたら死ぬ前に**存在意義の答えとして私の使命**っていうのはこれだったと思う、これをやってきて一つの**結果が出たって確信をもって死ねたらいいんじゃないかな**っていうのが有ります。

國分さんの使命は何ですか？

今の私の中での使命、想いは、私自身ありがたいことに

和太鼓に出会えて和太鼓の音は人を元気にする力があるっていう確信を持っています。

和太鼓の音を使う人間のレベル、クオリティが上がっていけば上がっていくほど、**人を元気にすることができるんじゃないかな**っていう想いが有り、私は自分自身**そういう太鼓打ちになりたい**と思っています。

そして、うちの転輪太鼓に縁している子たちや、その子供たちが成長して今プロとして活動して、更に成長していき、一人でも多くの方に元気を送りたい、**この子達を目指して下の太鼓教室の子供達が成長して行く人間関係の流れとなり人材育成**というのがどんだん巡り巡って、**これが続いて**行って、どんだん広がっていくそんな状況というのをしっかりと作っていきたくて思っています。



強い思いと大変な経験を積み重ねてきた中で、 ご自身の自信につながった部分はどんなことですか？

太鼓を叩いた後に聞いていただいた方から「元気になった」「ありがとう」**本当に辛かったけど力が出た**と、そういう言葉を一杯いただく経験ができ「元気を出してもらおう」「応援に行こう」という思いで行くのですが、**その活動に対して逆に応援してもらえる**。自分もまた**応援してもらって元気になる**。

その応援という言葉っていうのは、私すごく大好きで応援しようと思う側・応援される側が一生懸命頑張ると、**もう一つ力が起きて**、その応援する側・応援される側の姿を見てる人、**この姿をみている人も**その関係性を見る中で縁する中で、私もなんかやらなきゃって思って、**新たな力がそこに生れ出して**くるっていう経験をずっと私はしてるんです。

私の他にも色々な太鼓打ちは一杯いるんですが一般の方にはできない行為にはなると思うので、私にとっては**和太鼓を打つ**ということが自分の**存在価値**っていうか**存在意義**っていう部分にもかかわるのかもしれないですね。太鼓打ちになってよかったな太鼓打って人を元気にすることができて、その反響がもらえるっていうのをすごい感じてますよね。

心に強く残っている体験談を教えてくださいませんか？

支援活動で入った中越地震の際に小地谷（おじや）という町に入ったんですよ。

僕らが行った時に最初は太鼓の音が地震の音響きに感じて怖いという話があったんだけど、小地谷の総合体育館の外だったら演奏してもいいとなり、演奏する場所の横で自衛隊が銭湯を作ってくれていたんですよ。

皆そこへお風呂に入りに来ており銭湯の横で、夕方から演奏したんですよ。銭湯待ちの人達のところで演奏したら逆に差し入れもらったり演奏終わった後に「もうありがとう、ありがとう」「本当に心温まった」とか言ってもらいながらね。

その時に、**すごい形相で文句言ってくるオジサンがいた**の「お前たちな、状況が分かってんのか」っていう応援しに来たのに、なんで怒られなかんのだろうと内心思ったんだけど、その方がうわーって、行政に対する不満だったりだとか、鯉を養殖するのが小千谷（おじや）は有名で鯉が全部死んでしまったとか、うわーって言った後にポロッと涙流してひと息を置いた後に「いや、申し訳ない、あんたたちに文句言うつもりはなかったんだけど、あんたたちの演奏を聴いて、なんか力が湧いてきてね。**それが文句に変わっちゃったんだ、申し訳ないって**」**そうかこれが、本音だったんだよね**。

文句言うのにも力があるんだって、愚痴をいうのにも力があるんだっていうのを、その時に**体験**させてもらって、その人がそれを言い切ってくれんな、でもありがとうなっていった後に、ダーって並んでる車の方へ歩いて行ったんだよね。

こんな事があって自分たちの太鼓で応援するんだという気持ちちゃんと伝わるんだっていう確信を持てる。

いろんなタイミングをいっぱい僕は、もらっているんで、これは絶対的な自信であり、確信かな。

まだまだインタビューは続きます！全容はこちらから！



紙面では掲載しきれない対談内容の動画や対談風景の写真を掲載しています！！

「CM サマージャンボ 2022 の出演」や「海外公演」でのお話など盛りだくさん



Profile

転輪太鼓グループ代表
特定非営利活動法人 転輪太鼓 代表理事
株式会社 TEMRIN 代表取締役
春日井市観光特任大使
東日本大震災支援団体さくらっ子ドリーム応援団団長
全日本青少年育成アドバイザー
特技 剣道（5段）・料理（作るのも食べるのも）
趣味 格闘技 柔術・空手・総合（観るの大好き！やるのも少々嗜みます）
迫力の演奏と、軽快な MC とのギャップで、一気に客席をつ・か・み ます。
大太鼓演奏をはじめとして、篠笛、鳴り物、何なら歌までエトセトラ。
震災支援のため、リヤカーに和太鼓を担いでの1000キロ歩き切の旅でのエピソードをテーマにした講演活動も。
打って、しゃべって、笑って、泣いて、緩急自在の舞台は天下一品！
座右の銘は「威風堂々」！いくつに成っても「人生、常に今が最高！」が信条です！

TENRINDAIKO JAPAN
<http://www.tenrin.jp/>



洞窟探検家になるきっかけは？

洞窟探検家になろうと思ってなったわけではないんですよ。

ただ、僕らの世代にやっていた探検もののテレビ番組が大好きで。もともと洞窟や鍾乳洞、生き物とかにも興味があったので、親に連れて行ってもらったり、自分で電車やバスに乗って行ったりするような子どもだったんです。

ちょうど23歳の時に、アウトドア雑誌で洞窟探検をやっているサークルがあることを知って、記事の最後に書いてあった電話番号に「連れて行ってください」って電話したところから洞窟探検が始まりました。

今ならすぐに検索すればいいけど、当時は出会いなんですよ。雑誌を見なかったら、僕は探検をやってないかもしれない。

洞窟探検家として来年で30年。長い間、洞窟を好きでいられる理由は？

洞窟が魅力的なんですよ。僕、未知未踏が好きなんです。自分が経験したことがないことを経験するのは楽しいでしょ？一般の人は、非日常の世界と言えば旅行だと思うんですが、僕にとっては探検が旅行ですね。

でも地球上で未知未踏はどこかという、深海か地底しかないんです。だけど、深海は潜水艦に乗せてもらわないと行けない。自分の力で行けるのは、地底しかないんです。そうすると、自然に洞窟ばかり行くことになるんです。



洞窟探検家 吉田 勝次氏 × 春日井 JC

スペシャル対談！



対談テーマ 「誇りと自信」 “これまでの活動の振り返り、これから何をすべきかを考える”

Profile

1966年12月19日 生まれ
大阪府出身
一般社団法人日本ケイビング連盟会長
地球探検社(有) 勝建 探検事業部 代表取締役
Japan Exploration Team (日本探検チーム、略称 J.E.T) 代表
National Speleological Society 会員
NPO 法人日本火山洞窟学会会員
日本洞窟学会会員

特技
・少林寺拳法 5段 経験してきた格闘技、武道(空手、キックボクシング、テコンドー、柔道)
・スキューバダイビング
・アマチュア無線技士
・発破技師
・土木施工管理技士
・建設機械施工管理技士

著書
洞窟ばか
素晴らしき洞窟探検の世界
洞窟探検家 CAVE EXPLORER
オレはどうくつ探検家
洞窟ばか すきあらば前人未踏の洞窟探検

マイパーパス = 存在意義とは？

他者に認められることかな。

街中で会った人に「吉田さんに憧れています」とか「すごく元気をもらっています」とよく声をかけられるんだけど、「吉田さんは強い人」だから、そんな強いメンタルや強い肉体に憧れているみたい。そういうふうに、他者から認められて求められる。

そしてそれに対して応えていくのが自分の存在意義だと思いますね。

最後にメッセージを

生きていく上で当たり前仕事だけをしてきた人間が、ある日突然、これを一生続けていきたいなあっていうものに会った時、まずは好きな事と仕事を両立するっていうのが大事だと思います。そして次の段階で、好きなことを仕事にすることを目標に生きていってほしい。

子どもさんだったら、好きなことを伸ばしてあげれば良い。やみくもに勉強しなさいって言っても響かないから、逆に「何が好きなの？」って聞いて、導いてあげた方が良いかもしれない。子どもだろうが大人だろうが、一人の人間が納得してないのにやるってのは、なかなかできないよね。

まずは漠然と勉強しなさいじゃなくて、勉強が必要だから段階を上げていくべきじゃないのっていうふうに気づかせてあげることが大事だと思うな。

吉田 勝次氏 Web Link

HP : <https://yoshidakatsuji.info/>



自信や誇りを感じるのはどんな時？

ふれずにずっとやり続けてきたからこそ、「洞窟と言ったら吉田さん」と第一人者と呼ばれるようになった。

そうすると相手が最初から、洞窟探検家の中で僕が最高峰だからというリスペクトから入ってくるんですよ。洞窟探検をやっていたから、洞窟を媒体にしているんな人脈や繋がりもできて、いろんな恩恵を受けられた。自分が好きなことをやり続けてきたただけだけど、それこそが本物だと思います。

これまで大変だったことは？

30代くらいの頃、ある日突然、洞窟が怖くなって入れなくなったことが二回くらいあります。

別に狭くもなく、普通に四つん這いで行けるようなところだったんですけど、急にスイッチが入って、どうも怖くなって前に進めない。だけど、一旦洞窟から離れたら、そんなこと忘れてまた入れちゃいましたけど。

やっぱり心の問題ですね。未だに心と格闘します。肉体が自分の体を運んでくれるんだけど、メンタルで支えられてるから進めるっていうのがあって。だからメンタルしないで、元気も出るし凹んだり、急に怖くなって逃げ帰るってこともある。メンタルをコツコツ鍛えると視野も広がっていくと思うんですよ。

移動式洞窟クレイジーマイン

洞窟探検家 吉田勝次が、今まで気軽に体験できなかった洞窟探検をもっと気軽に体験していただけるように数々の洞窟探検をしてきた体験を詰め込んでデザインし、人の力で分解、組み立てでき、どこへでも人力で運んで設営できるように設計した移動して組み立てできる、洞窟迷路。

移動式洞窟クレイジーマインを開発しようと思ったきっかけは？

僕は来年で洞窟探検家生活30年になり、まだまだ引退は先ですけど、これから何をやっていくべきか、何をやりたかって考えた時、自分が楽しいと思いついてる洞窟探検をもっと知ってほしい、体験してほしいと思ったんです。

洞窟って日常とはかけ離れた場所にあって、体験しようとしても、かなりハードルが高いですよね。だったら近くに作れば良いんだっていう発想で洞窟を作ろうと思ったんです。

それをクレイジージャーニーというテレビ番組で発表させてもらったら、出演者の松本人志さんが、吉田さんが作る洞窟なら入っても良いよと言ってくれたんですよ。だからまず松本さんに一番に入ってもらえるように、今年作ってるんです。

僕はたまたま自分が好きなことに会って、大人になってもこれを極めたいってなった時に、じゃあどうしたらいいかっていうのを突き付けられて、初めてそこに向き合えたんですよ。

自分の好きなことしかやりたくないっていう人間がどこまで楽しく生きていけるか、めいっぱい楽しんでるおっさんを見て、周りの人がどう思うかが大事なんですよ。そのきっかけになればいいと思っています。

自分の子どもに対しても、これだけめいっぱい頑張ったことがあれば、結構人生楽しいよ。って自分が見せられればそれでいいんですよ。それが僕の教育です。

それが僕が残せるメッセージかなと思います。

まだまだインタビューは続きます！全容はこちらから！



紙面では掲載しきれない対談内容の動画や対談風景の写真を掲載しています！！

<https://www.kasugai-jc.com/magazine/kouhoushi2023/>



「はるりん」を探してね

春日井JC公式キャラクター

はるりん



さぼぼ

アンケートの応募方法は
Web とハガキ
から選べるよ

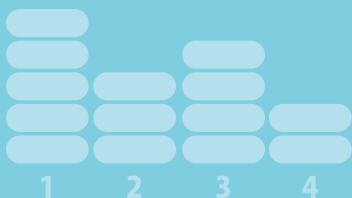


2023年度公益社団法人 春日井青年会議所 広報誌 読者アンケートプレゼント

正解者の中から抽選で豪華景品プレゼント



応募用
QRコード



プレゼントは裏面をご覧ください！！
プレゼントの応募締め切り10月末

↓ハガキは切り取ってご利用下さい

— POST CARD —

広報誌で興味を持った記事はありましたか。

当てはまるものをすべてチェックしてください。

- 春日井 JC 『5年後・10年後のビジョン』
- 春日井 JC の存在意義 ～パーパス～
- 春日井市長対談
- ゲストインタビュー（國分入道光雲氏）
- ゲストインタビュー（吉田 勝次氏）
- 女性会員紹介・キャラクター紹介

上記でチェックした記事のどこに興味をもちましたか。記事に対してご感想がありましたらお書きください。

〒486-0844

春日井市鳥居松町 5-45
春日井商工会議所内

（公社）春日井青年会議所 行

全てご記入下さい

氏名
連絡先（携帯）
メールアドレス
住所 〒

年代 下記に○を付けて下さい
～10代・20代～30代
40代～50代・60代・70代

プレゼントの応募締め切り10月末消印有効

63円切手
を貼って下さい

【個人情報の取り扱いについて】 ご記入いただいた個人情報は当企画のみで使用させていただきます。


kasugai jc
since 1969

プレゼント一覧

Amazon ギフトカードタイプ **①**
3,000円 1名様



—オーダースーツ店—
Brillante **②**
ハンカチーフ 1名様
3,000円相当



<https://brillante-tailor.com/>

—メンズ脱毛—
TORIKO **③**
1名様



TORIKO
ボディークリーム
3,000円相当



https://peraichi.com/landing_pages/view/8toriko6/

④
1名様



JTB 旅行券
10,000円分

広報誌を読んで、春日井 JC の事業は魅力的に思えましたか。

1つだけチェックして下さい。

- とても魅力的に思えた。
 魅力的に思えた。
 あまり魅力的に感じない。
 魅力的でない。

広報誌を読んで、春日井 JC の事業に参加してみたいと思えましたか。

1つだけチェックして下さい。

- とても参加してみたい。
 参加してみたい。
 あまり参加したくない。
 参加したくない。

プレゼントの応募締め切り 10月末消印有効

広報誌へのご意見・ご要望があれば教えてください。

読者アンケートプレゼント企画

～はるりんを探せ!～

人

広報誌の各ページにいた、はるりんは全部で何人でしょうか。(正解者の中から抽選で豪華景品プレゼント)

応募する景品を選んで下さい。

1つだけチェックして下さい。

- ① Amazon ギフト券 3,000円
 ② Brillante ハンカチーフ 3,000円相当
 ③ TORIKO ボディークリーム 3,000円相当
 ④ JTB 旅行券 10,000円分

55
kasugai jc
since 1969

お問合せ

公益社団法人春日井青年会議所
TEL090-5036-2482

担当：安田